

## 「新しい離島振興施策に関する調査」のフォロー －特殊な傾向を示す離島の深堀調査－

### (1) 離島における人口動態

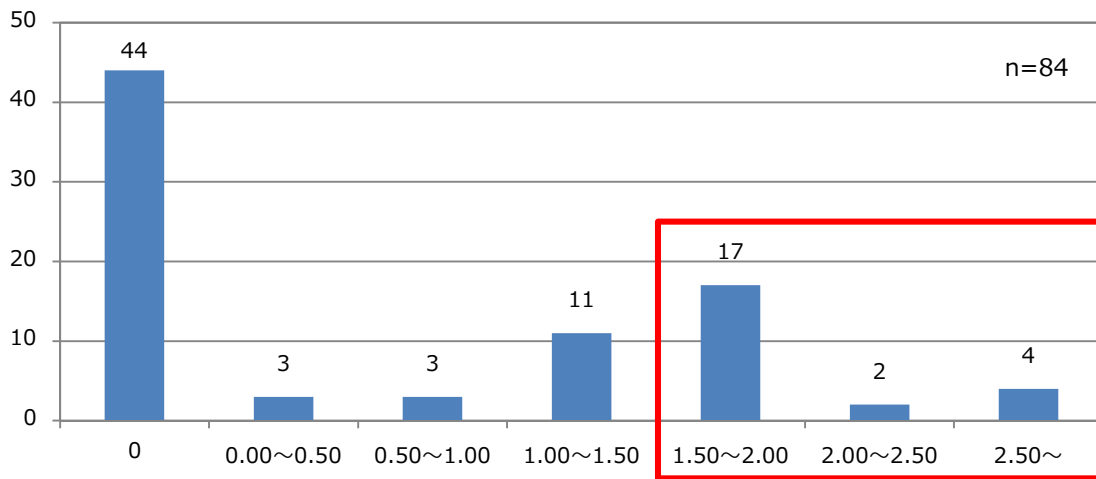
#### 1) 合計特殊出生率別の離島数

〔離島別の期間合計特殊出生率の回答を集計〕

- ・合計特殊出生率が0と回答した離島は44島（有効回答数の52.4%）
- ・一方、合計特殊出生率が1.5以上と回答した離島は23島（有効回答数の27.4%）

<参考>

- ・全国の合計特殊出生率：1.43（厚生労働省「平成25年人口動態統計の概況」）



合計特殊出生率別の離島数（一部市町村別も含む）

#### 合計特殊出生率の高い（1.5～）離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	出生率	理由・要因など
1	北海道	羽幌町	焼尻島	孤立小型	235	2.50	母数が少ないためと思われる。女性一人の出産による値。
2	北海道	奥尻町	奥尻島	孤立大型	2,926	1.58	前年度より10人増加しており、母数が少ないため。自衛隊員など町外からの転入者の家族による出産があった。
3	宮城県	気仙沼市	大島	内海近接型	2,863	1.62	特に理由はないと思われる。
4	東京都	神津島村	神津島	孤立小型	1,931	4.25	元々子供、若者が多い地域であり、島に活気があるため子育てがしやすい環境。特に子育てを支援する目立った制度はない。
5	東京都	八丈町	八丈島	孤立大型	7,899	1.74	特に理由はないと思われる。
6	新潟県	粟島浦村	粟島	孤立小型	342	2.78	毎年一人程度だが、母数が少ないためと思われる。

7	新潟県	佐渡市	佐渡島	孤立大型	60,196	1.93	保育園二人目無料など、市の施策の効果があると考えられる。
8	島根県	隠岐の島町	島後	群島型主島	15,038	2.14	特に理由ないと思われる。
9	島根県	西ノ島町	西ノ島	群島型属島	3,083	1.65	以下の理由が考えられる。 ・IUターンの増加 ・島前病院で産科医による診療が可能となった ・助成の手厚さ (町外通院の補助、医療費無料、出産準備金、宿泊費支援)
10	香川県	小豆島町	小豆島	内海近接型	15,847	1.56	特に理由はないと思われる。
11	香川県	土庄町	小豆島	内海近接型	14,088	1.52	高松市内まで定期便があり、小学校等育児環境が整っているためと考えられる。 ※沖之島、小豊島、豊島は出生率が不明のため、小豆島の数値を使用している。
12	香川県	土庄町	沖之島	内海近接型	70	1.52	
13	香川県	土庄町	小豊島	内海近接型	14	1.52	
14	香川県	土庄町	豊島	内海近接型	938	1.52	
15	愛媛県	宇和島市	九島	内海近接型	959	1.63	母数が少ないためと思われる。
16	愛媛県	宇和島市	嘉島	孤立小型	108	1.64	
17	愛媛県	宇和島市	戸島	孤立小型	372	1.65	
18	愛媛県	宇和島市	日振島	孤立小型	385	1.66	
19	愛媛県	宇和島市	竹ヶ島	孤立小型	36	1.67	
20	長崎県	五島市	福江島	群島型主島	36,846	1.91	特に理由はないと思われる。
21	鹿児島県	長島町	獅子島	内海近接型	766	2.00	母数が少ないためと思われる。
22	鹿児島県	西之表市	種子島	孤立大型	16,284	1.99	3世代同居や、親が近くに住む世帯が多いため、子どもの面倒を見やすい環境にあることが一因ではないか。
23	鹿児島県	三島村	硫黄島	孤立小型	101	10	母数が少ないためと思われる。 出生数は1～2名。 ※出生率は精査が必要か

## 2) 平成 25 年度の転入者のうち、Uターン者の占める割合ごとに見た離島数

〔Uターン者の転入者数にもとづき、転入者に占めるUターン者の割合を算出〕

- ・転入者数の UIJ ターン別人数が把握できた 44 島のうち、転入者に占める U ターン者の割合は、0～20%の離島が最も多く 14 島
  - ・Uターン者がいない離島が 9 島、Uターン者が 80%以上を占める離島が 8 島
- ※平成 25 年度の JIT ターン別転入者数を把握している 60 島のうち、転入者のある 44 島について集計

転入者のうち、Uターン者の占める割合ごとに見た離島数

転入者のうち、 Uターン者割合(%)	0%	0～20%	20～40%	40～60%	60～80%	80～100%	総計
離島数(島)	9	14	5	3	5	8	44
離島割合(%)	20.5%	31.8%	11.4%	6.8%	11.4%	18.2%	100.0%

転入者に占めるUターン者の割合の高い(80%以上)離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	転入 者 (人)	理由・要因など
1	香川県	坂出市	岩黒島	内海近接型	93	1	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
2	香川県	坂出市	与島	内海近接型	162	2	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
3	長崎県	松浦市	黒島	外海近接型	69	3	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
4	長崎県	松浦市	飛島	外海近接型	52	1	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
5	長崎県	小値賀町	斑島	群島型属島	200	4	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
6	熊本県	天草市	横浦島	内海近接型	741	2	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
7	鹿児島県	長島町	獅子島	内海近接型	766	30	特に大きな出来事・要因はなく、島に親戚がいるなどゆかりのある人々が帰ってくる傾向ではある。
8	鹿児島県	十島村	小宝島	孤立小型	49	2	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。

### 3) 平成 25 年度の年代別の転入者割合ごとに見た離島数

〔年代別転入者数にもとづき、年代別の転入者割合を調査〕

- ・年代別転入者数が把握できた 60 島のうち、30 歳未満の転入者割合は 40～60%の島が最も多く 22 島、30 歳未満の転入者がいない離島が 14 島
- ・30～64 歳の転入者割合では、40～60%の島が最も多く 25 島、30～64 歳の転入者がいない離島が 9 島

※平成 25 年度の年代別転入者数を把握している 80 島のうち、転入者のある 60 島について集計

30 歳未満の転入者割合別の離島数

30 歳未満 の転入者 割合(%)	0%	0～20%	20～40%	40～60%	60～80%	80～100%	総計
離島数 (島)	14	5	7	22	7	5	60
離島割 合(%)	23.3%	8.3%	11.7%	36.7%	11.7%	8.3%	100.0%

#### 30 歳未満の転入者割合の高い (80%以上) 離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	転入者 (人)	理由・要因など
1	石川県	輪島市	舳倉島	孤立小型	2	2	診療所職員として島に駐在する方の住民登録のみ反映されている。住民は島と本土に両方家を持っており、住民票の移動はない。
2	広島県	大竹市	阿多田島	内海近接型	306	13	転入者のほとんどが外国人であり、牡蠣の養殖等の外国人の就労の場があるためと考えられる。
3	長崎県	松浦市	飛島	外海近接型	52	1	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。
4	鹿児島県	十島村	口之島	孤立小型	122	7	若い家庭が一家で移住した。
5	鹿児島県	十島村	小宝島	孤立小型	49	2	転入者自体が少ないので、特に理由はないと思われる。

## (2) 就業環境

### 1) 通勤実態

①島民が日々の仕事をしている場所（島民が通勤している場所）の島内外の割合

〔島民の就業場所について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・就業環境を地理特性格別みると、地理6類型すべてで、島外に通勤する方がいる。
- ・特に、外海・内海近接型、群島型属島では、「一部の方が島外へ通勤している」ケースが多い。
- ・「多くの方が島外へ通勤している」と回答した離島は、内海近接型で10%を占め（気仙沼市大島、鳥羽市坂出島など）、群島型主島では、全員が島外へ通勤している離島もある（新上五島町頭ヶ島、桐ノ小島）。
- ・また、各離島の就業者数と仕事の場所の割合（アンケートで把握）を考慮すると、離島の就業人口のうち、約7%が島外に働きに出ている試算。

		地理特性格別の、日々の仕事をしている場所						離島数(島)		
		全員が島内に通勤	一部の方は島外へ通勤	半数程度の方は島外へ通勤	多くの方が島外へ通勤	全員が島外へ通勤	わからない	その他	無回答	総計
内海近接型		20	47	4	12	0	15	7	7	112
		17.9%	42.0%	3.6%	10.7%	0.0%	13.4%	6.3%	6.3%	100.0%
外海近接型		9	29	0	0	0	1	1	0	40
		22.5%	72.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	100.0%
群島型主島		5	3	0	0	2	1	0	0	11
		45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型属島		8	18	0	1	0	0	3	4	34
		23.5%	52.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	8.8%	11.8%	100.0%
孤立大型		10	2	0	0	0	0	0	0	12
		83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
孤立小型		28	6	0	0	0	2	0	0	36
		77.8%	16.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%
総計		80	105	4	13	2	19	11	11	245
		32.2%	43.3%	1.6%	5.3%	0.8%	7.8%	4.5%	4.5%	100.0%

- 最も割合の大きいもの
- 2番目に割合の大きいもの

#### 全員が島外へ通勤する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	長崎県	新上五島町	頭ヶ島	群島型主島	17	中通島に架橋されている。
2	長崎県	新上五島町	桐ノ小島	群島型主島	6	中通島に架橋されている。

多くの方が島外へ通勤する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	宮城県	気仙沼市	大島	内海近接型	2,863	主に一般サラリーマン・市役所職員などがフェリーを用いて移動。マイカーをフェリーに載せて移動する場合もある。
2	三重県	鳥羽市	坂手島	内海近接型	398	本土側の工場などへの通勤者が多い。
3	兵庫県	南あわじ市	淡路島	内海近接型	671	鳴門大橋が架橋されている。
4	岡山県	瀬戸内市	前島	内海近接型	187	本土まで前島フェリーで5分と近い。
5	広島県	三原市	佐木島	内海近接型	792	本土まで高速船12分と近い。
6	山口県	光市	牛島	内海近接型	58	航路20分程度。
7	香川県	直島町	向島	内海近接型	14	直島まで船で5分と近い。
8	香川県	丸亀市	本島	内海近接型	492	本土まで船で30分と近い。朝夕の便があるため若い方などが本土に働きに行っている。
9	香川県	丸亀市	広島	内海近接型	297	船便の時間の都合で、島から働きに出る方は少なく、本土から働きに来る方が多い(青木石の採掘場あり)。
10	愛媛県	上島町	佐島	内海近接型	519	弓削島・岩城島・尾道市(広島県)などに通勤する。弓削島・佐島・生名島・岩城島は造船業に従事する人が多い。船を利用して通勤される人が多い。
11	愛媛県	上島町	生名島	内海近接型	1,713	
12	長崎県	新上五島町	若松島	群島型属島	1,581	中通島に架橋されている。
13	大分県	佐伯市	大入島	内海近接型	863	本土まで船で7分。オフィスワークなどが多い。

一部の方が島外へ通勤する離島(孤立小型、孤立大型、群島型主島)一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	島外の割合(%)	理由・要因など
1	東京都	八丈町	八丈島	孤立大型	7,899	0.4	回答時に統計資料より引用したため、詳細は不明。
2	山口県	萩市	見島	孤立小型	891	1	ごく僅かいるが詳細は不明。
3	愛媛県	宇和島市	嘉島	孤立小型	108	10	オフィスワークなどのために、宇和島港への船を使用。
4	愛媛県	宇和島市	戸島	孤立小型	372	10	
5	愛媛県	宇和島市	日振島	孤立小型	385	10	
6	愛媛県	宇和島市	竹ヶ島	孤立小型	36	10	
7	長崎県	対馬市	対馬島	孤立大型	33,132	1	ごく僅かいるが詳細は不明。
8	長崎県	平戸市	高島	孤立小型	26	10	人口が少ないため、パートなどの主婦が反映されている。

9	長崎県	小値賀町	小値賀島	群島型主島	2,332	不明（わずか）	特に観光シーズンに野崎島等周辺離島の体験施設の管理人として泊まり込む場合がある。
10	長崎県	新上五島町	中通島	群島型主島	19,475	10	架橋されている周辺離島（若松島、頭ヶ島等）への通勤。
11	鹿児島県	薩摩川内市	上甕島	群島型主島	2,822	5	中甕島に漁協の支部があり、そこに通勤する人がいる。

②島内で日々の仕事をしている方のうち、島外に居住し島内へ通勤している方の割合  
 (島外から島内に通勤する方の人数について最もあてはまる選択肢の回答を集計)

- ・島外から島内に仕事に来る方は、内海・外海の近接型が多い
- ・孤立大型・小型の離島では、島外から仕事に来る方はいない島が、それぞれ 91.7%、75.0%

		地理特別の、島外に居住している方の島内への通勤状況						離島数(島)	
		島外から通勤している方はいない	一部の方は、島外から通勤	半数程度の方が島外から通勤	多くの方が島外から通勤	全員が島外から通勤	わからない	無回答	総計
内海 近接型		34	48	6	2	0	13	9	112
		30.4%	42.9%	5.4%	1.8%	0.0%	11.6%	8.0%	100.0%
外海 近接型		14	20	0	1	0	3	2	40
		35.0%	50.0%	0.0%	2.5%	0.0%	7.5%	5.0%	100.0%
群島型 主島		5	4	0	0	1	1		11
		45.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	100.0%
群島型 属島		17	8	3	0	0	2	4	34
		50.0%	23.5%	8.8%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	100.0%
孤立大型		11	1	0	0	0	0	0	12
		91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
孤立小型		27	4	0	1	0	3	1	36
		75.0%	11.1%	0.0%	2.8%	0.0%	8.3%	2.8%	100.0%
総計		108	85	9	4	1	22	16	245
		44.1%	34.7%	3.7%	1.6%	0.4%	9.0%	6.5%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

全員が島外から通勤する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	長崎県	新上五島町	頭ヶ島	群島型主島	17	中通島と架橋されている

多くの方が島外から通勤する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	石川県	輪島市	舳倉島	孤立小型	2	季節に応じて水産業関係者などが漁協の加工施設等に住民票は本土にある。
2	広島県	大崎上島町	長島	内海近接型	16	大崎発電所がある。大崎上島と架橋。
3	広島県	呉市	三角島	内海近接型	36	造船関連企業がある。
4	長崎県	西海市	松島	外海近接型	554	火力発電所がある。



一部の方が島外から通勤する離島（孤立小型、孤立大型、群島型主島）一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	割合 (%)	理由・要因など
1	東京都	八丈町	八丈島	5.孤立大型	7,899	0.3	回答時に統計資料より引用したため詳細はわからない。
2	愛媛県	宇和島市	嘉島	孤立小型	108	5	漁業関係者などが、宇和島港より高速船で通勤している。
3	愛媛県	宇和島市	戸島	孤立小型	372	5	
4	愛媛県	宇和島市	日振島	孤立小型	385	5	
5	愛媛県	宇和島市	竹ヶ島	孤立小型	36	5	
6	長崎県	壱岐市	壱岐島	群島型主島	28,266	1	若宮島等周辺群島から通っている就業者がいると思われる。
7	長崎県	新上五島町	中通島	群島型主島	19,475	10	介護施設職員が若松島から通っている。
8	長崎県	五島市	福江島	群島型主島	36,846	不明	官公庁職員、他島の建設業者等必要に応じて福江島へ通勤する。
9	鹿児島県	薩摩川内市	上甕島	群島型主島	2,822	5	病院や工事現場などに橋を利用して通勤している

### (3) 生活必需サービスのアクセス環境

#### 1) 小学校への通学実態

##### ① 離島の小学生の通学実態

〔島内小学生の通学先（島内外）について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・ 該当者がいない場合（小学生がいない場合）を除くと、多くの離島で島内に小学校があり、そこに通っている。
- ・ 一方、内海近接型、外海近接型、群島型属島では、島に学校がなく、全員が島外に通学している割合が1割程度。

地域特性別の小学生の通学実態							離島数(島)	
	島に学校があり、全員が島内の学校へ通学	島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学	島に学校がなく、全員が島外に通学	わからない	その他	該当者がいない	総計	
内海近接型	39	2	18	1	5	46	111	
	34.8%	1.8%	16.1%	0.9%	4.5%	41.1%	100.0%	
外海近接型	20	1	3	0	0	16	40	
	50.0%	2.5%	7.5%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%	
群島型主島	9	0	0	0	0	2	11	
	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	100.0%	
群島型属島	12	0	5	0	1	16	34	
	35.3%	0.0%	14.7%	0.0%	2.9%	47.1%	100.0%	
孤立大型	12	0	0	0	0	0	12	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
孤立小型	29	0	0	0	2	4	35	
	80.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	100.0%	
総計	121	3	26	1	8	84	243	
	49.4%	1.2%	10.6%	0.4%	3.3%	34.3%	100.0%	

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

②島内・島外の小学校への平均的な通学時間（片道）

〔島内小学生の通学時間について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の小学校に通う場合は、15分未満
- ・島外の小学校に通う場合は、15分以上30分未満が36%、30分以上45分未満が23%

		小学校までの通学時間						離島数(島)	
		15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1.5時間以上 2時間未満	2時間以上	総計
島内の 小学校	人数	67	47	11	2	0	0	0	127
	割合	52.8%	37.0%	8.7%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
島外の 小学校	人数	3	10	7	5	0	2	0	27
	割合	11.1%	37.0%	25.9%	18.5%	0.0%	7.4%	0.0%	100.0%

※島外の小学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均時間

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

③島内・島外の小学校への平均的な通学費用（1か月あたり）

〔島内小学生の通学費用について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の小学校に通う場合の費用は、ほぼ0円である。
- ・島外の小学校への移動でも、通学費用は0円が半数、移動に負担が発生している場合は、1か月あたり5,000円未満の負担が多い

		小学校までの通学費用（1か月あたり）							離島数(島)	
		0円	5,000円 未満	5,000円 以上 10,000円 未満	10,000円 以上 20,000円 未満	20,000円 以上、 30,000円 未満	30,000円 以上 40,000円 未満	40,000円 以上 50,000円 未満	50,000円 以上	総計
島内の 小学校	人数	116	3	1	0	0	0	0	0	120
	割合	96.7%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
島外の 小学校	人数	12	7	1	2	1	0	0	1	24
	割合	50.0%	29.2%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%

※島外の小学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均費用

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

## 2) 中学校への通学実態

### ① 離島の中学生の通学実態

〔島内中学生の通学先（島内外）について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島に学校がない場合を除き、全員が島内の学校に通っている割合が最も多い。
- ・内海近接型、群島型属島では、島に学校がなく、全員が島外に通学している割合が20%程度、孤立小型の離島では、島内に中学校がないために、全員が島外で下宿している例もある。

		地域特性別の中学生の通学実態						離島数(島)	
	島に学校があり、全員が島内の学校へ通学	島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学	島に学校があるが、半数程度の生徒は島外に通学	島に学校がなく、全員が島外に通学	島に学校がなく、全員が島外で下宿	わからない	その他	該当者はいない	総計
内海近接型	23	6	1	24	1	1	3	50	109
	20.5%	5.4%	0.9%	21.4%	0.9%	0.9%	2.7%	44.6%	100.0%
外海近接型	17	0	0	6	0	0	2	15	40
	42.5%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	5.0%	37.5%	100.0%
群島型主島	8	1	0	0	0	0	0	2	11
	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	100.0%
群島型属島	7	0	0	9	0	0	2	16	34
	20.6%	0.0%	0.0%	26.5%	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	100.0%
孤立大型	12	0	0	0	0	0	0	0	12
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
孤立小型	26	0	0	0	4	0	0	4	34
	72.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
総計	93	7	1	39	5	1	7	87	240
	38.0%	2.9%	0.4%	15.9%	2.0%	0.4%	2.9%	35.5%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

### 島に学校があるが、半数程度の生徒は島外に通学する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	大分県	佐伯市	大入島	内海近接型	863	離島の中学校の生徒数が少ないため、本土の学校と選択できるようにしている、そのため、本土通学を選択する家庭がある。

島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	愛知県	南知多町	日間賀島	内海近接型	2,045	養護学校に通学する生徒が船とスクールバスで通学している。
2	三重県	鳥羽市	答志島	内海近接型	2,349	島内の一部の地区が島内の中学校の学区外のため、船+徒歩で本土中学校に通学している。通学費用は市が全額負担している。
3	香川県	坂出市	櫃石島	内海近接型	223	本土の私立中学校に通学する生徒がいる。
4	香川県	小豆島町	小豆島	内海近接型	15,847	進学校志向の家庭などは本土通学を選択している。
5	香川県	土庄町	小豆島	内海近接型	14,088	本土の養護学校にフェリー・スクールバスで通う生徒が若干名いる。通学費用は一部国による補助が出ている。
6	愛媛県	上島町	弓削島	内海近接型	2,737	島外の中学校に通学するため、下宿している生徒がいる。
7	長崎県	新上五島町	中通島	群島型主島	19,475	学校区が異なり島外（群島型属島）の中学校に通学する生徒がいる。

島に学校がなく、全員が島外で下宿する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	山口県	下関市	蓋井島	内海近接型	98	本土の親戚宅から通学している。
2	愛媛県	宇和島市	嘉島	孤立小型	108	本土の中学校に下宿していたが、次年度からの廃校に伴う校区変更により、今年度から市中心部に近い別の中学校近くの寮に下宿し、通学している。
3	愛媛県	宇和島市	戸島	孤立小型	372	
4	愛媛県	宇和島市	日振島	孤立小型	385	
5	愛媛県	宇和島市	竹ヶ島	孤立小型	36	本土の中学校に下宿している。

②島内・島外の中学校への平均的な通学時間（片道）

〔島内中学生の通学時間について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の中学校に通う場合では、多くが 30 分未満。
- ・島外の中学校に通う場合では、15 分以上 30 分未満が最も多く、45 分以上 1 時間未満の離島も 26%程度。

		中学校までの通学時間						離島数(島)	
		15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上 2時間未満	2時間以上	総計
島内の 中学校	52	40	11	3	0	0	0	106	
	49.1%	37.7%	10.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
島外の 中学校	1	14	12	11	3	1	0	42	
	2.2%	33.3%	28.6%	26.2%	6.7%	2.2%	0.0%	100.0%	

※島外の中学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均時間

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

③島内・島外の中学校への平均的な通学費用（1か月あたり）

〔島内中学生の通学費用について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の中学校の場合はほぼ 0 円。
- ・島外の中学校への移動においても 0 円が半数を占め、移動に負担が発生している場合は 20,000 円未満の負担のものが多い。

		中学校までの通学費用（1か月あたり）							離島数(島)	
		0円	5,000円 未満	5,000円 以上 10,000円 未満	10,000円 以上 20,000円 未満	20,000円 以上 30,000円 未満	30,000円 以上 40,000円 未満	40,000円 以上 50,000円 未満	50,000円 以上	総計
島内の 中学校	96	1	1	1	1	0	0	0	100	
	96.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
島外の 中学校	21	6	3	9	1	0	0	0	40	
	52.5%	15.0%	7.5%	22.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

※島外の中学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均費用

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

### 3) 高等学校への通学実態

#### ① 離島の高校生の通学実態

〔島内高校生の通学先について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・ 高校への通学は、学校が島内に無い場合が増え、多くが、島外に通学もしくは下宿している。
- ・ 島内の高校に通学している割合は6%程度、全員が島外に下宿している場合が増加。（特に、孤立小型、外海近接、群島型主島）

地域特性別の高校生の通学実態

離島数(島)

	地域特性別の高校生の通学実態						離島数(島)		
	島に学校があり、全員が島内の学校へ通学	島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学	島に学校があるが、半数程度の生徒は島外に通学	島に学校がなく、全員が島外に通学	島に学校がなく、全員が島外で下宿	わからない	その他	該当者はいない	総計
内海近接型	0	4	1	35	5	1	6	58	110
	0.0%	3.6%	0.9%	31.8%	4.5%	0.9%	5.5%	52.7%	100.0%
外海近接型	0	0	0	3	11	1	4	17	36
	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	30.6%	2.8%	11.1%	47.2%	100.0%
群島型主島	5	0	0	2	3	0	1	0	11
	45.5%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	100.0%
群島型属島	0	0	0	10	1	0	3	20	34
	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	2.9%	0.0%	8.8%	58.8%	100.0%
孤立大型	7	1	0	0	0	0	4	0	12
	58.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
孤立小型	2	0	0	1	18	0	1	11	33
	6.1%	0.0%	0.0%	3.0%	54.5%	0.0%	3.0%	33.3%	100.0%
総計	14	5	1	51	38	2	19	106	236
	5.9%	2.1%	0.4%	21.6%	16.1%	0.8%	8.1%	44.9%	100.0%

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きなもの

#### 島に学校があるが、半数程度の生徒は島外に通学する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	兵庫県	姫路市	家島	内海近接型	3,488	進学を考え、よりレベルの高い高校を希望する場合などは、通学可能な本土の高校を選択する。

島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学する離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	東京都	八丈町	八丈島	孤立大型	7,899	島内には1つの高校のみで選択肢が少ない。 島外の高校に通う場合は下宿している。
2	広島県	大崎上島町	大崎上島	内海近接型	8,031	島内には、高専と高校が1校ずつあるのみで、選択肢が少ない。
3	香川県	小豆島町	小豆島	内海近接型	15,847	島内の高校2校が平成29年度に統合予定。 学校の特徴を考慮して本土の高校を選択する可能性がある。
4	香川県	土庄町	小豆島	内海近接型	14,088	
5	愛媛県	上島町	弓削島	内海近接型	2,737	希望に応じて島外の高校を選択する生徒もいる。

②島内・島外の高等学校への平均的な通学時間（片道）

〔島内高校生の通学時間について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の高校に通う場合は、15分以上45分未満が多い
- ・島外の高校に通う場合は、1時間以上かかる場合が多い

	高等学校までの通学時間						離島数(島)	
	15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上 2時間未満	2時間以上	総計
島内の 高等学校	4 13.8%	16 55.2%	7 24.1%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	29 100.0%
島外の 高等学校	3 4.7%	8 12.5%	14 21.9%	16 25.0%	22 34.4%	1 1.6%	0 0.0%	64 100.0%

※島外の高等学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均時間

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

高等学校までの通学時間が長い（1.5時間以上）離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	三重県	鳥羽市	神島	外海近接型	404	船の船所要時間35分だが、高校までの陸路の移動に時間がかかるため。



③島内・島外の高等学校への平均的な通学費用（1か月あたり）

〔島内高校生の通学費用について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の高校に通う場合は、0円が半数を占める。
- ・島外の高校に通う場合は、10,000円以上20,000円未満が最も多く、50,000円以上かかる場合もある。

高等学校までの通学費用（1か月あたり）

離島数(島)

	0円	5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上	総計
島内の 高等学校	15 57.7%	2 7.7%	5 19.2%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%
島外の 高等学校	8 12.7%	6 9.5%	10 15.9%	23 36.5%	9 14.3%	1 1.6%	1 1.6%	5 7.9%	63 100.0%

※島外の高等学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均費用

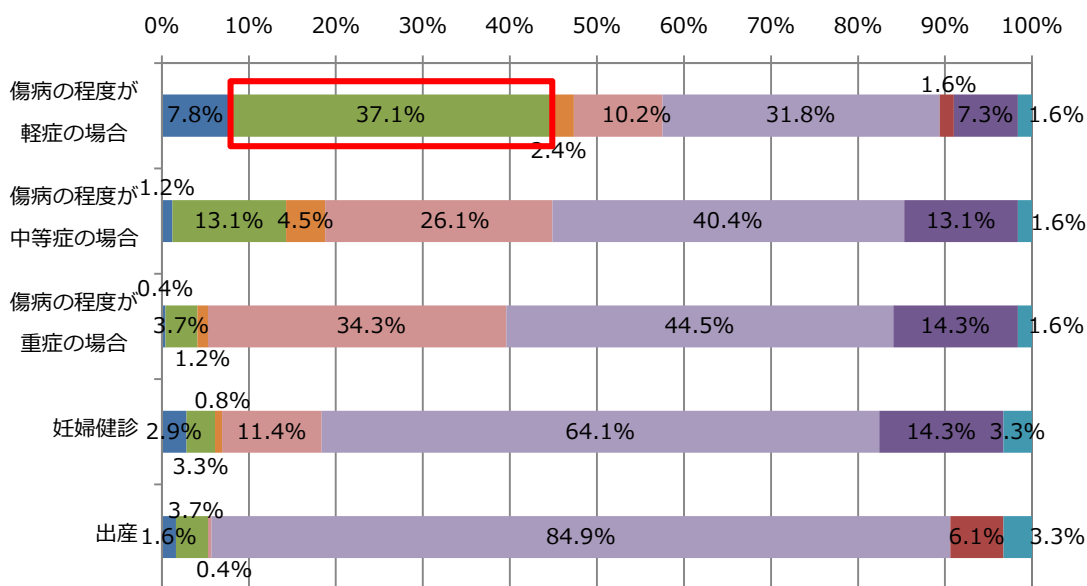
- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

### 3) 医療環境

#### ① 傷病の程度による島内・島外の医療施設の利用実態

〔島民が利用する医療施設の場所について最もあてはまる選択肢の回答を集計、移動時間、移動費用について傷病の程度別に記述式で回答〕

- ・ 傷病の程度が軽症の場合は、「島に診療所・病院があるが、一部の方は島外の診療所・病院に通っている」が約 37%
- ・ 傷病の程度が中等症、重傷になるほど、島内に診療所・病院がありながらも、島外の診療所・病院を利用する割合が上昇。
- ・ 妊婦健診と出産については、島に施設がなく、全員が島外の診療所・病院を利用せざるを得ない状況であり、わずかではあるが、産婆さんなどを利用して、家庭で出産をしているケースがある。
- ・ 通院にかかる時間は、軽症の場合は、60 分未満の離島が半数以上、中等症になると、120 分以上 180 分未満が最も多く、重症の場合（入院）と妊婦健診、出産は 60 分以上 120 分未満が最も多い。
- ・ 通院にかかる費用については、軽症の場合は、500 円未満が最も多いが、重傷になると、1,000 円以上 2,000 円未満が最も多い。



- 島に診療所・病院があり、全員が島内の診療所・病院に通っている
- 島に診療所・病院があるが、一部の方は島外の診療所・病院に通っている
- 島に診療所・病院があるが、半数程度の方は島外の診療所・病院に通っている
- 島に診療所・病院があるが、多くの方は島外の診療所・病院に通っている
- 島に診療所・病院がなく、全員が島外の診療所・病院に通っている
- 診療所・病院へは行かずに、家庭で対処する
- その他
- 不明

傷病の程度別の島内・島外の医療施設の利用状況 (n=245)

傷病の程度が軽症の場合に、島に診療所・病院がありながら一部の方は島外の診療所・病院に通っている  
離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	北海道	羽幌町	焼尻島	孤立小型	235	本土にある道立病院が広範囲の診療科に対応できるため、そちらを主に使う島民がいる。
2	北海道	羽幌町	天売島	孤立小型	348	
3	山口県	萩市	見島	孤立小型	891	萩市内の病院のほうが、診療科目が多いため、そちらを利用する島民が多い。
4	高知県	宿毛市	沖の島	孤立小型	206	沖の島へき地診療所があるが、医師は常駐ではなく、診療科目も内科のみである。このため、医師不在の際や診療科目以外で対応できない場合は本土に通う必要がある。
5	長崎県	佐世保市	黒島	群島型主島	537	診療科目が内科しかないため。

#### 4) 買物実態

##### ①日用品の購入状況

〔日用品を購入する場所について主要なもの上位3つの選択肢の回答を集計、移動時間、移動費用について記述式で回答〕

- ・日用品の購入実態としては、本土や近隣離島に出かけて買物をする割合が、島内の商店で購入する割合より高い。
- ・購入にかかる時間としては、30分以上60分未満が最も多く、次いで60分以上120分未満
- ・購入にかかる運賃については、500円未満が最も多く、次いで、500円以上1000円未満
- ・地理類型別に所要時間では、内海・外海近接型、群島型属島は30分以上60分未満、群島型主島は60分以上180分未満、孤立大型・小型は180分以上360分未満が多い。
- ・地理類型別の運賃では、内海・外海近接型は500円未満、群島型主島、孤立大型・小型は2000円以上が多い。

日用品の主要な購入方法

離島数(島)

	島内の商店で購入	本土や近隣離島に出かけて購入	本土や近隣離島に出かける人が代理で購入	共同購入	移動購買車	通信販売	その他	不明	総計
1位	83	132	10	2	1	8	4	5	245
	33.9%	53.9%	4.1%	0.8%	0.4%	3.3%	1.6%	2.0%	100.0%
2位	32	63	53	4	5	54	9	25	245
	13.1%	25.7%	21.6%	1.6%	2.0%	22.0%	3.7%	10.2%	100.0%
3位	18	22	40	8	3	46	13	95	245
	7.3%	9.0%	16.3%	3.3%	1.2%	18.8%	5.3%	38.8%	100.0%

※島民の日用品の購入方法として主要なものから1位、2位、3位と順位付けをして回答

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きいもの

##### 日用品の主要な購入方法が通信販売である離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	山口県	光市	牛島	内海近接型	58	商店はあるが品揃えが少なく、生協等の利用が多い。 島内の商店では最低限の品目のみ販売。 鹿児島市内の店舗などが受注サービスなどを実施しており、その利用者が多い。
2	鹿児島県	十島村	口之島	孤立小型	122	
3	鹿児島県	十島村	中之島	孤立小型	139	
4	鹿児島県	十島村	諏訪之瀬島	孤立小型	59	
5	鹿児島県	十島村	平島	孤立小型	63	
6	鹿児島県	十島村	悪石島	孤立小型	51	
7	鹿児島県	十島村	小宝島	孤立小型	49	
8	鹿児島県	十島村	宝島	孤立小型	120	

島外で日用品の購入する場合にかかる所要時間（店舗までの移動時間）

離島数(島)

	15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上 180分未満	180分以上 360分未満	360分以上 720分未満	720分以上 1440分未満	1440分以上	回答無し	総計
内海	6	26	48	29	1	0	0	0	0	2	112
近接型	5.4%	23.2%	42.9%	25.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
外海	2	8	22	8	0	0	0	0	0	0	40
近接型	5.0%	20.0%	55.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型	0	0	1	2	2	1	1	0	0	4	11
主島	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型	2	8	10	3	4	2	0	0	0	5	34
属島	5.9%	23.5%	29.4%	8.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	100.0%
孤立	0	0	0	1	3	4	1	0	0	3	12
大型	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立	1	1	6	8	3	9	6	0	1	1	36
小型	2.8%	2.8%	16.7%	22.2%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%
総計	11	43	87	51	13	16	8	0	1	15	245
	4.5%	17.6%	35.5%	20.8%	5.3%	6.5%	3.3%	0.0%	0.4%	6.1%	100.0%

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きいもの

日用品を購入する場合にかかる時間が長い（360分以上）離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	東京都	神津島村	神津島	孤立小型	1,931	夕方に本土到着のため実質片道 1泊 2日かかる
2	東京都	三宅村	三宅島	孤立大型	2,686	夕方に本土到着のため実質片道 1泊 2日かかる
3	東京都	御蔵島村	御蔵島	孤立小型	287	夕方に本土到着のため実質片道 1泊 2日かかる
4	鹿児島県	薩摩川内市	下甕島	群島型主島	2,474	フェリーが甕島列島各島を経由するため時間が掛かる。
5	鹿児島県	三島村	黒島	孤立小型	163	フェリーみしまで片道 360分かかる。運航日にも左右される。
6	鹿児島県	十島村	口之島	孤立小型	122	フェリーとしまの運航日にのみ移動が可能。
7	鹿児島県	十島村	中之島	孤立小型	139	
8	鹿児島県	十島村	諏訪之瀬島	孤立小型	59	
9	鹿児島県	十島村	平島	孤立小型	63	

島外で日用品を購入する場合にかかる所要運賃（店舗への移動にかかる運賃）

	500円未満	500円以上 1000円未満	1000円以上 2000円未満	2000円以上 3000円未満	3000円以上 5000円未満	5000円以上 7500円未満	7500円以上 10000円未満	回答無し	総計
内海 近接型	42	37	26	0	1	0	0	6	112
	37.5%	33.0%	23.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.4%	100.0%
外海 近接型	17	19	3	1	0	0	0	0	40
	42.5%	47.5%	7.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	1	0	0	2	4	0	4	11
	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	9	8	2	1	1	7	1	5	34
	26.5%	23.5%	5.9%	2.9%	2.9%	20.6%	2.9%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	3	3	3	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	1	1	6	15	4	4	4	1	36
	2.8%	2.8%	16.7%	41.7%	11.1%	11.1%	11.1%	2.8%	100.0%
総計	69	66	37	20	11	18	5	19	245
	28.2%	26.9%	15.1%	8.2%	4.5%	7.3%	2.0%	7.8%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

日用品を購入する場合にかかる費用が高い（7500円以上）離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	東京都	新島村	新島	孤立小型	2,355	東京まで片道 6,460 円。フェリーと本土での交通費。
2	東京都	新島村	式根島	孤立小型	537	
3	東京都	神津島村	神津島	孤立小型	1,931	東京まで片道 6,850 円。フェリーと本土での交通費。
4	島根県	西ノ島町	西ノ島	群島型属島	3,083	高速船片道 6,170 円
5	愛媛県	宇和島市	竹ヶ島	孤立小型	36	定期船がないため、チャーターなどの必要がある。

②食料品の購入状況

〔食料品を購入する場所について主要なもの上位3つの選択肢の回答を集計、移動時間、移動費用について記述式で回答〕

- ・食料品の購入実態としては、本土や近隣離島に出かけて買物をする割合が、島内の商店で購入する割合より高い
- ・購入にかかる時間としては、30分以上60分未満が最も多く、次いで60分以上120分未満
- ・購入にかかる費用としては、500円未満が最も多く、次いで500円以上1000円未満が多い
- ・地理特性別に所要時間をみると、内海・外海近接型、群島型属島は30分以上60分未満  
一方、孤立大型は180分以上360分未満
- ・地理特性別の運賃では、内海・外海近接型、群島型属島は1000円未満のものが半数以上  
一方、群島型主島や孤立大型・小型は2000円以上のものが半数以上を占める

		食料品の主要な購入方法							離島数(島)	
		島内の商店で購入	本土や近隣離島に出かけて購入	本土や近隣離島に出かける人が代理で購入	共同購入	移動購買車	通信販売	その他	不明	総計
1位		93	122	10	2	2	8	5	3	245
		38.0%	49.8%	4.1%	0.8%	0.8%	3.3%	2.0%	1.2%	100.0%
2位		29	66	50	3	4	58	9	26	245
		11.8%	26.9%	20.4%	1.2%	1.6%	23.7%	3.7%	10.6%	100.0%
3位		12	23	39	12	7	43	1	108	245
		4.9%	9.4%	15.9%	4.9%	2.9%	17.6%	0.4%	44.1%	100.0%

※島民の食料品の購入方法として主要なものから1位、2位、3位と順位付けをして回答

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

食料品の主要な購入方法が通信販売である離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	山口県	光市	牛島	内海近接型	58	商店はあるが品揃えが少なく、生協等の利用が多い 島内の商店では最低限の品目のみ販売。 鹿児島市内の店舗などが受注サービスなどを実施しており、その利用者が多い。
2	鹿児島県	十島村	口之島	孤立小型	122	
3	鹿児島県	十島村	中之島	孤立小型	139	
4	鹿児島県	十島村	諏訪之瀬島	孤立小型	59	
5	鹿児島県	十島村	平島	孤立小型	63	
6	鹿児島県	十島村	悪石島	孤立小型	51	
7	鹿児島県	十島村	小宝島	孤立小型	49	
8	鹿児島県	十島村	宝島	孤立小型	120	

島外で食料品を購入する場合にかかる所要時間（店舗までの移動時間）

離島数(島)

	15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上 180分未満	180分以上 360分未満	360分以上 720分未満	720分以上 1440分未満	1440分 以上	回答無し	総計
内海 近接型	6	27	47	27	1	0	0	0	0	4	112
	5.4%	24.1%	42.0%	24.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	100.0%
外海 近接型	1	8	23	8	0	0	0	0	0		40
	2.5%	20.0%	57.5%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	0	1	2	2	1	1	0	0	4	11
	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	2	8	10	3	4	2		0	0	5	34
	5.9%	23.5%	29.4%	8.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	1	3	4	1	0	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	0	1	6	9	3	9	6	0	1	1	36
	0.0%	2.8%	16.7%	25.0%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%
総計	9	44	87	50	13	16	8	0	1	17	245
	3.7%	18.0%	35.5%	20.4%	5.3%	6.5%	3.3%	0.0%	0.4%	6.9%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

食料品を購入する場合にかかる時間が長い（360分以上）離島一覧


	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口（人）	理由・要因など
1	東京都	神津島村	神津島	孤立小型	1,931	日用品の場合と同様
2	東京都	三宅村	三宅島	孤立大型	2,686	
3	東京都	御蔵島村	御蔵島	孤立小型	287	
4	鹿児島県	薩摩川内市	下甌島	群島型主島	2,474	
5	鹿児島県	三島村	黒島	孤立小型	163	
6	鹿児島県	十島村	口之島	孤立小型	122	
7	鹿児島県	十島村	中之島	孤立小型	139	
8	鹿児島県	十島村	諏訪之瀬島	孤立小型	59	
9	鹿児島県	十島村	平島	孤立小型	63	



島外で食料品を購入する場合にかかる所要時間（店舗への移動にかかる運賃）

離島数(島)

	500円未満	500円以上 1000円未満	1000円以上 2000円未満	2000円以上 3000円未満	3000円以上 5000円未満	5000円以上 7500円未満	7500円以上 10000円未満	回答無し	総計
内海 近接型	44	35	26	0	1	0	0	6	112
	39.3%	31.3%	23.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.4%	100.0%
外海 近接型	16	20	3	1	0	0	0	0	40
	40.0%	50.0%	7.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	1	0	0	2	4	0	4	11
	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	9	8	2	1	1	7	1	5	34
	26.5%	23.5%	5.9%	2.9%	2.9%	20.6%	2.9%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	3	3	3	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	1	1	6	15	4	4	4	1	36
	2.8%	2.8%	16.7%	41.7%	11.1%	11.1%	11.1%	2.8%	100.0%
総計	70	65	37	20	11	18	5	19	245
	28.6%	26.5%	15.1%	8.2%	4.5%	7.3%	2.0%	7.8%	100.0%

 最も割合の大きなもの

 2番目に割合の大きなもの

食料品を購入する場合にかかる費用が高い（7500円以上）離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口(人)	理由・要因など
1	東京都	新島村	新島	孤立小型	2,355	日用品の場合と同様
2	東京都	新島村	式根島	孤立小型	537	
3	東京都	神津島村	神津島	孤立小型	1,931	
4	島根県	西ノ島町	西ノ島	群島型属島	3,083	
5	愛媛県	宇和島市	竹ヶ島	孤立小型	36	

## 5) 生活インフラの実態

### ①車検（継続検査）を受検するための島内の環境、島民の対応状況

〔島内の車検の受験場所、受験方法、島外で車検を受検する場合の自動車の輸送費用を最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・離島における車検の対応については、車検に対応できる場所が島内に無い離島が 80%
- ・カーフェリーが無く、チャーター船等を利用して自動車を島外へ運び車検を実施している離島が 20%
- ・自動車 1 台の輸送には、輸送コストが安い場合で 1,000 円未満、高い場合では 50,000 円以上が必要

島内の車検の受験可能場所の有無			離島数(島)
無し	有り	不明	総計
198	39	8	245
80.8%	15.9%	3.3%	100.0%

最も割合の大きなもの

### 車検の受験可能場所が有る離島のうち小規模（人口 300 人未満）な離島一覧

	都道府県	市町村	島名	地理特性	人口 (人)	理由・要因など
1	東京都	御蔵島村	御蔵島	孤立小型	287	本土の整備業者が出張車検を行っている。交通費は島民負担である。車検の実施場所は役場駐車場などの村有地である。
2	東京都	青ヶ島村	青ヶ島	孤立小型	162	島内に、自動車整備工場があり、レンタカー、日用品店、浄化槽管理、特産品開発・販売など、様々な事業を行い生計を立てている。
3	長崎県	対馬市	海栗島	群島型属島	64	航空自衛隊がある。

島民の車検受検方法				離島数(島)		
島内で車検を受検している	フェリー等で島外に自動車運び、車検を受検している	フェリーがなく、チャーター船等を利用して自動車を島外に運び、車検を受検している	島外より出張車検が来て受検している	その他	不明	総計
34	101	49	3	54	4	245
13.9%	41.2%	20.0%	1.2%	22.0%	1.6%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

#### 車検の受検方法が「その他」のうち、主要な対応

- ・島内に自動車がなく車検の必要がない
- ・架橋されており、整備場まで移動可能
- ・島内整備業者が、島外に輸送して受検している

島外で車検を受検する場合の、自動車1台の輸送にかかる運賃									離島数(島)	
1,000円未満	1,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上	無回答	総計
23	41	25	21	23	18	10	2	13	69	245
9.4%	16.7%	10.2%	8.6%	9.4%	7.3%	4.1%	0.8%	5.3%	28.2%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

②し尿処理のための島内施設整備状況と対応状況

〔島内のし尿処理の方法、バキューム車が必要な場合の島内の車の有無、島内のし尿処理場の有無を最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・離島におけるし尿処理の実態については、下水道整備が進んでおらず各戸処理で対応している割合が33%、汲み取り式が25%
- ・合併浄化槽、汲み取り式で処理している離島のうち、島内常備のバキューム車を持つ離島は、40%程度で、カーフェリーやその他の手段によりバキューム車を輸送
- ・し尿処理施設は、島内に無い場合が多く、島外で処分している離島が7割程度

島内で出たし尿の処理の方法				離島数(島)	
島内に下水道と処理場が整備されている	下水道の整備が無く、合併浄化槽などで各戸処理している	汲み取り式	その他	無回答	総計
45	82	62	40	16	245
18.4%	33.5%	25.3%	16.3%	6.5%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

し尿処理の方法が「その他」のうち、主要な対応

- ・下水道、合併浄化槽、汲み取り等の併用で対応
- ・漁業集落排水施設
- ・自家処理

汲み取りに必要なとなるバキューム車の有無*				離島数(島)	
島内常備のバキューム車がある	収集時に本土もしくは周辺離島より、定期航路のカーフェリーでバキューム車を輸送している	特別に手配したカーフェリーでバキューム車を輸送している	その他	総計	
58	44	31	11	144	
40.3%	30.6%	21.5%	7.6%	100.0%	

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

バキューム車の対応が「その他」のうち、主要な対応

- ・島内の自家菜園に肥料として散布して活用
- ・市有のカーフェリーを運航

島内のし尿処理場の有無*				離島数(島)	
島内にし尿処理場があり、島内で処理している	島内にし尿処理場があるが、一部は島外で処理している	島内にし尿処理場がなく、全て島外で処理している	その他	総計	
33	1	103	7	144	
22.9%	0.7%	71.5%	4.9%	100.0%	

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

\*「島内で出たし尿の処理方法」が「下水道の整備が無く、合併浄化槽などで各戸処理している」もしくは「汲み取り式」と回答した離島を対象とした調査

し尿処理場の有無が「その他」のうち、主要な対応

- ・自家処理
- ・埋め立て
- ・島内の自家菜園に肥料として散布して活用

③ごみ処理のための島内施設整備状況と対応状況

〔島内のごみ処理の方法、島内のごみ収集車の有無、島内のごみ処理場の有無を最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・離島におけるごみ処理の実態は、全てのごみを島外の処理場まで輸送して処理している割合が63%
- ・島内常備のごみ収集車を持つ離島は30%程度
- ・ごみ収集車を島に輸送するのではなく、「コンテナでごみを回収し定期船で輸送する」「漁船で運ぶ」「指定されたごみ収集場所まで住民が運ぶ」「軽トラックで収集する」など、各離島で工夫して対応

島内のごみ処理施設で処理	島内で出たごみの処理の方法			離島数(島)	
	主に島内の簡易的な施設で処理、粗大ごみ等一部は島外の施設で処理	全て島外のごみ処理施設で処理	その他	無回答	総計
35	18	155	25	12	245
14.3%	7.3%	63.3%	10.2%	4.9%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

ごみ処理の方法が「その他」のうち、主要な対応

- ・一部の不燃ごみのみ島内の最終処分場で埋立し、それ以外のごみは島外の施設で処理
- ・可燃、粗大は島民で処理、それ以外は島外のごみ処理施設で処理

島内常備のごみ収集車がある	島内のごみ収集車の有無				総計
	収集時に本土もしくは周辺離島より、定期航路のカーフェリーでごみ収集車を輸送し、回収している	収集時に本土もしくは周辺離島より、特別に手配したカーフェリーでごみ収集車を輸送し、回収している	その他	無回答	
74	41	25	90	15	245
30.2%	16.7%	10.2%	36.7%	6.1%	100.0%


最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの


ごみ収集車の対応が「その他」のうち、主要な対応

- ・定期船がないため、漁船で本土に搬送している
- ・ごみを直接、船で海上輸送し本土にてごみ収集車に移す
- ・船着き場に集積所を設置しており、船に直接収集している
- ・コンテナ等を用いてごみを運搬している
- ・地元自治会・婦人会などに収集を委託している「
- ・漁業協同組合による収集運搬を実施している
- ・瀬渡し業者による収集・運搬を実施している

島内のごみ処理場の有無

島内にごみ処理場があり、島内で処理している	島内にごみ処理場があるが、一部は島外で処理している	島内にごみ処理場がなく、全て島外で処理している	その他	無回答	総計
33	23	165	12	12	245
13.5%	9.4%	67.3%	4.9%	4.9%	100.0%

 最も割合の大きなもの

 2番目に割合の大きなもの

ごみ処理場の有無が「その他」のうち、主要な対応

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立ごみは島内の最終処分場で処理している</li> <li>・島内にごみ処理場が無く、全て自家処理している</li> </ul> |
|--|